

◇第IVグレードの到達目標 <6～7歳児>

ピグマリオン学育研究所

幼児期において、下記の目標を達成することは、過半数以上の幼児に可能です。そして、幼児期に達成してもらいたいのです。能力を意味あるものするには、まず、高い現実認識能力が必要です。

上級グレードでは、その基礎となるものを揺るぎないものとして、確立したいと思います。

能力の種類	到達目標、指導の方法
1	◇図形能力 平面図形12種類の名称と性質。図形の3要素（頂点・辺・角）と、直角、垂直・平行関係。面積の基礎となる広さのとらえ方。お手本を創ることによって育つ、先見性・法則性・関係性・合成分解能力・構成把握能力。小学校教育では、小4～6の内容になります。
2	◇思考力 上記（図形能力）の育成の中から、空間能力と思考力が育ってきます。それをより高いレベルで育て・固定化するのがこの思考力育成コーナーです。要するに、3次元空間・位置把握能力（上下・前後・左右）の確立が目的です。小学校教育では、小5～6以上の内容といえましよう。さらに、3次元空間把握能力の獲得は、全体的認識能力、3条件同時認識・判断・思考・解決能力を育てることになります。それらは、高い創造力になくってはならないものです。
3	◇数能力 (1) 1～1万の数の認識と加減暗算能力。数を認識すれば、数量でしか存在していません。ですから、数を量としてとらえさせ、量として計算させる能力を育てます。 (2) 長さの基礎。量の基礎である長さを、身近な単位（mm・cm）から学ばせます。そして、単位当たりの量という、数量認識の基本を理解するようにします。 (3) 平面図形の基礎。上記（図形能力）で経験した能力の学習を整理し、能力を固定化する。 (4) 時間の基礎。ここでは、<時>という基本時刻の認識と、午前・午後という考え方・言い方を学ばせ、日常生活の秩序立てのために使わせようとしています。